

90 名蔵湾

流域内状況

本流域は、石垣島西部に位置する。
河口域は、広大なマングローブ域となっており、また、上流域には名蔵ダムが立地する(①)。
流域内は、「農山漁村活性化対策整備事業」(②)により整備された農地が広がっており、サトウキビを主に栽培している。

流域位置図



流域図



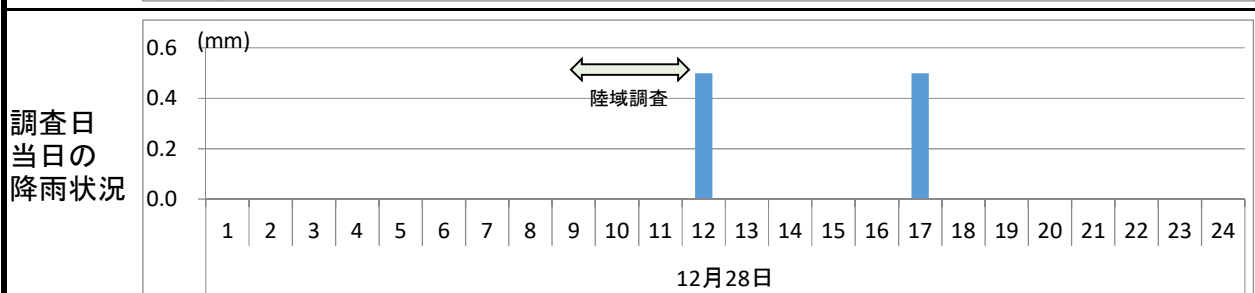
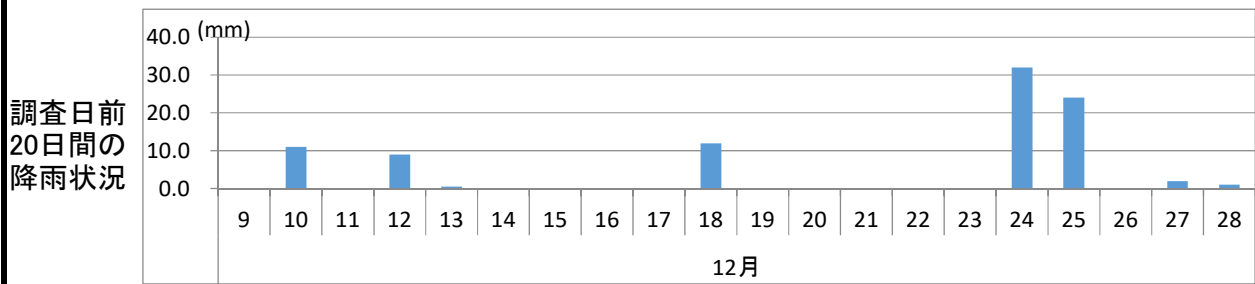
①名蔵ダム

* 衛星写真の撮影日は平成26年11月8日であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

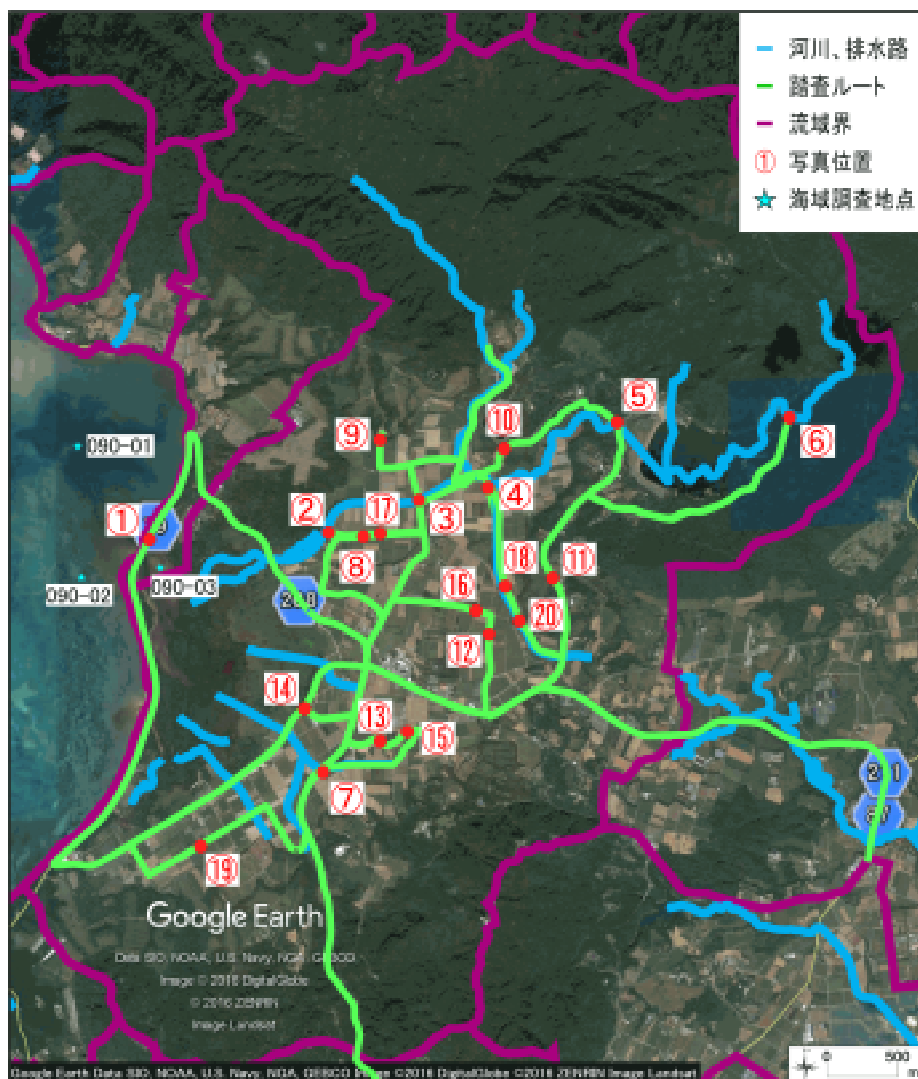
90 名蔵湾

第1回調査(平成30年12月28日実施)

降雨状況 川平観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成26年11月8日であるため、本調査日平成30年12月28日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

90 名蔵湾 第1回調査(平成30年12月28日実施)

調査日には降雨量が1mmであったため 平常時 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域において、濁りは確認されなかった。
- ② 河川下流域において、ほとんど濁りは確認されなかった。
- ③ 河川中流域の堰において、ほとんど濁りは確認されなかった。
- ④ 河川中流域において、濁りは確認されなかった。
- ⑤ 河川上流域の名蔵ダム直下において、放水が確認された。
- ⑥ 河川上流域の名蔵ダム直上において、濁りは確認されなかった。
- ⑦ 南側河川上流域において、濁りが確認され、その濁度は6.3(度)であった。濁水の原因は周辺の水田であると考えられる。

(2)農地

- ⑧ 河川下流域において、サウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑨ 流域内北側において、牧草地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑩ 河川中流域において、サウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑪ 流域内東側において、農場から道路や水路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑫ 流域内中央において、サウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑬ 流域内南側において、パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑭ 流域内中央のサウキビ畑において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。しかし、道路への赤土等の流出も確認された。
- ⑮ 流域内中央の農地において、ベチバーによるグリーンベルトが確認された。しかし、道路への赤土等の流出痕も確認された。
- ⑯ 流域内中央のサウキビ畑において、石垣による赤土等の流出防止対策が確認された。しかし、道路へ赤土等の流出痕も確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑰ 流域内中央において、集水柵が確認された。オーバーフローはなく、濁水が滞水していた。
- ⑱ 南側支川中流域において、集水柵が確認された。オーバーフローはなく、濁水が滞水していた。
- ⑲ 流域内南西側において、集水柵が確認された。柵内では滞水させず、直下の水路へ流れる構造となっていたが、水路に流れる水は柵内のものより濁りは薄く、沈砂池的な機能をしていると考えられる。

過年度確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ⑧,⑨,
- ⑩,⑫, 前回と比べ変化はなく、サウキビ畑等の農地から道路や側溝へ赤土等が流出していた。
- ⑬
- ⑳ 前回と比べ、サウキビ畑から赤土等の流出は確認されなかった。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑭ 昨年度と比べ、農地のマルチング状況に変化はなかったが、一部道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑯ 昨年度と比べ変化はなく、サウキビ畑に石垣による赤土等の流出防止対策が施されていたものの、赤土等の流出痕が確認された。

90 名蔵湾 第1回調査(平成30年12月28日実施)

調査日には降雨量が1mmであったため 平常時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁りなし)	① 河口域の状況 (濁りなし)	② 河川下流域の状況 (濁り少)
		
② 河川下流域の状況 (濁り少)	③ 河川中流域、堰の状況 (濁り少)	③ 河川中流域、堰の状況 (濁り有り)
		
④ 河川中流域の状況 (濁りなし)	⑤ 名蔵ダム直下の状況 (放水有り、濁りなし)	⑤ 名蔵ダム直下の状況 (放水有り、濁りなし)
		
⑥ 名蔵ダム上流域の状況 (濁りなし)	⑥ 名蔵ダム上流域の状況 (濁りなし)	⑦ 南側河川上流域の状況 (濁り有り)
		
⑦ 濁水が流れる水路の状況 (水田が流出源と考えられる)	⑦ 採水の状況 (濁度6.3(度))	⑧ サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕状況

90 名蔵湾 第1回調査(平成30年12月28日実施)

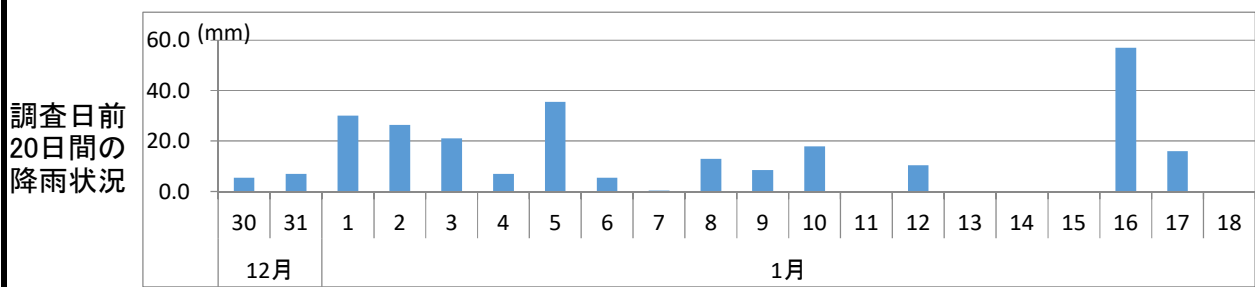
調査日には降雨量が1mmであったため 平常時 として調査実施

		
⑧ 昨年度の状況	⑨ 牧草地から道路への赤土等の流出痕状況	⑨ 昨年度の状況
		
⑨ 昨年度の状況	⑩ サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕状況	⑩ 昨年度の状況
		
⑪ 農場から道路や水路へ赤土等の若干の流出痕状況	⑫ サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕状況	⑫ 昨年度の状況
		
⑬ パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕状況	⑬ 昨年度の状況	⑭ マルチングによる赤土等の流出
		
⑭ 昨年度の状況	⑮ ベチバーによるグリーンベルトの状況	⑯ 石垣による赤土等の流出防止対策

90 名蔵湾

第2回調査(平成31年1月18日実施)

降雨状況 川平観測所



調査日
当日の
降雨状況

当日の降雨は確認されなかった。

調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成26年11月8日であるため、本調査日平成31年1月18日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

90 名蔵湾 第2回調査(平成31年1月18日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域において、濁りは確認されなかった。
- ② 河川下流域において、濁りが確認され、その濁度は16.4(度)であった。
- ③ 河川中流域の堰において、若干の濁りが確認された。
- ④ 河川中流域において、若干の濁りが確認された。
- ⑤ 河川上流域の名蔵ダム直下において、放水が確認されたが濁りはなかった。
- ⑥ 河川上流域の名蔵ダム直上において、濁りは確認されなかった。
- ⑦ 南側河川上流域において、濁りが確認され、その濁度は3.4(度)であった。濁水の原因は周辺の水田であると考えられる。

(2)農地

- ⑧ 河川下流域において、サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑨ 流域内北側において、牧草地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑩ 河川中流域において、サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑪ 流域内東側において、農場から道路や水路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑫ 流域内中央において、サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑬ 流域内南側において、パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑭ 流域内中央のサトウキビ畑において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。しかし、道路への赤土等の流出も確認された。
- ⑮ 流域内中央の農地において、ベチバーによるグリーンベルトが確認された。しかし、道路への赤土等の流出も確認された。
- ⑯ 流域内中央のサトウキビ畑において、石垣による赤土等の流出防止対策が確認された。しかし、道路へ赤土等の流出も確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑰ 流域内中央において、集水柵が確認された。
- ⑱ 南側支川中流域において、集水柵が確認された。
- ⑲ 流域内南西側において、集水柵が確認された。柵内にはブロックを積んでフィルター状のものが設置しており、そこを透過し直下の水路へ流れる構造となっていた。水路に流れる水は柵内のものより濁りは薄く、沈砂池的な機能をしていると考えられる。

第1回確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ⑧,⑨,
- ⑩,⑪, 前回と比べ変化はなく、サトウキビ畑等の農地から道路や水路へ赤土等が流出していた。
- ⑫,⑬

流出防止対策等

(1)農地

- ⑮ 前回と比べ変化はなく、ベチバーによるグリーンベルトが施されていたものの、一部道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑯ 前回と比べ変化はなく、サトウキビ畑に石垣による赤土等の流出防止対策が施されていたものの、赤土等の流出痕が確認された。

90 名蔵湾 第2回調査(平成31年1月18日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁りなし)	① 河口域の状況 (濁りなし)	② 河川下流域の状況 (濁り有り)
		
② 採水の状況 (濁度16.4(度))	③ 河川中流域、堰の状況 (濁り少)	③ 河川中流域、堰の状況 (濁り少)
		
④ 河川中流域の状況 (濁り少)	⑤ 名蔵ダム直下の状況 (放水有り、濁りなし)	⑤ 名蔵ダム直下の状況 (放水有り、濁りなし)
		
⑥ 名蔵ダム上流域の状況 (濁りなし)	⑥ 名蔵ダム上流域の状況 (濁りなし)	⑦ 濁水が流れる水路の状況 (水田が流出源と考えられる)
		
⑦ 採水の状況 (濁度3.4(度))	⑧ サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕状況	⑧ 前回の状況

90 名蔵湾 第2回調査(平成31年1月18日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
⑨ 牧草地から道路への赤土等の流出痕状況	⑨ 前回の状況	⑩ サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕状況
		
⑩ 前回の状況	⑪ 農場から道路や水路へ赤土等の若干の流出痕状況	⑪ 前回の状況
		
⑫ サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕状況	⑫ 前回の状況	⑬ パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕状況
		
⑬ 前回の状況	⑭ マルチングによる赤土等の流出防止対策	⑭ 前回の状況
		
⑮ グリーンベルトによる赤土等の流出防止対策	⑮ 前回の状況	⑯ 石垣による赤土等の流出防止対策

95 白保

流域内状況

本流域は、轟川の流域を主とする流域であり、石垣島の石垣市白保に位置する。

流域内では、サトウキビ畑を主とする農地が広がっている。この農地は「県営水質保全対策事業(耕土流出防止型)」等の対象となっており(①)、近年、沈砂池や排水路等の整備が活発に行われている。また、「沖縄の自然環境保全に配慮した農業活性化事業」等によってグリーンベルトの設置等も行われている。

流域位置図



流域図



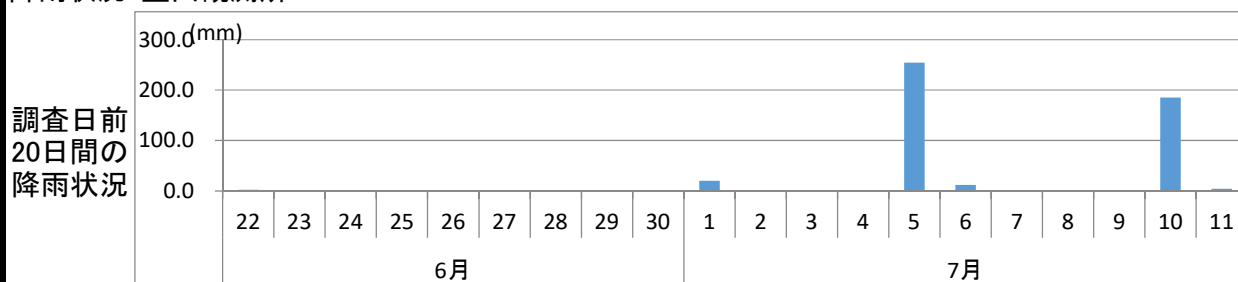
①水質保全対策事業看板

* 衛星写真の撮影日は平成26年11月8日であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

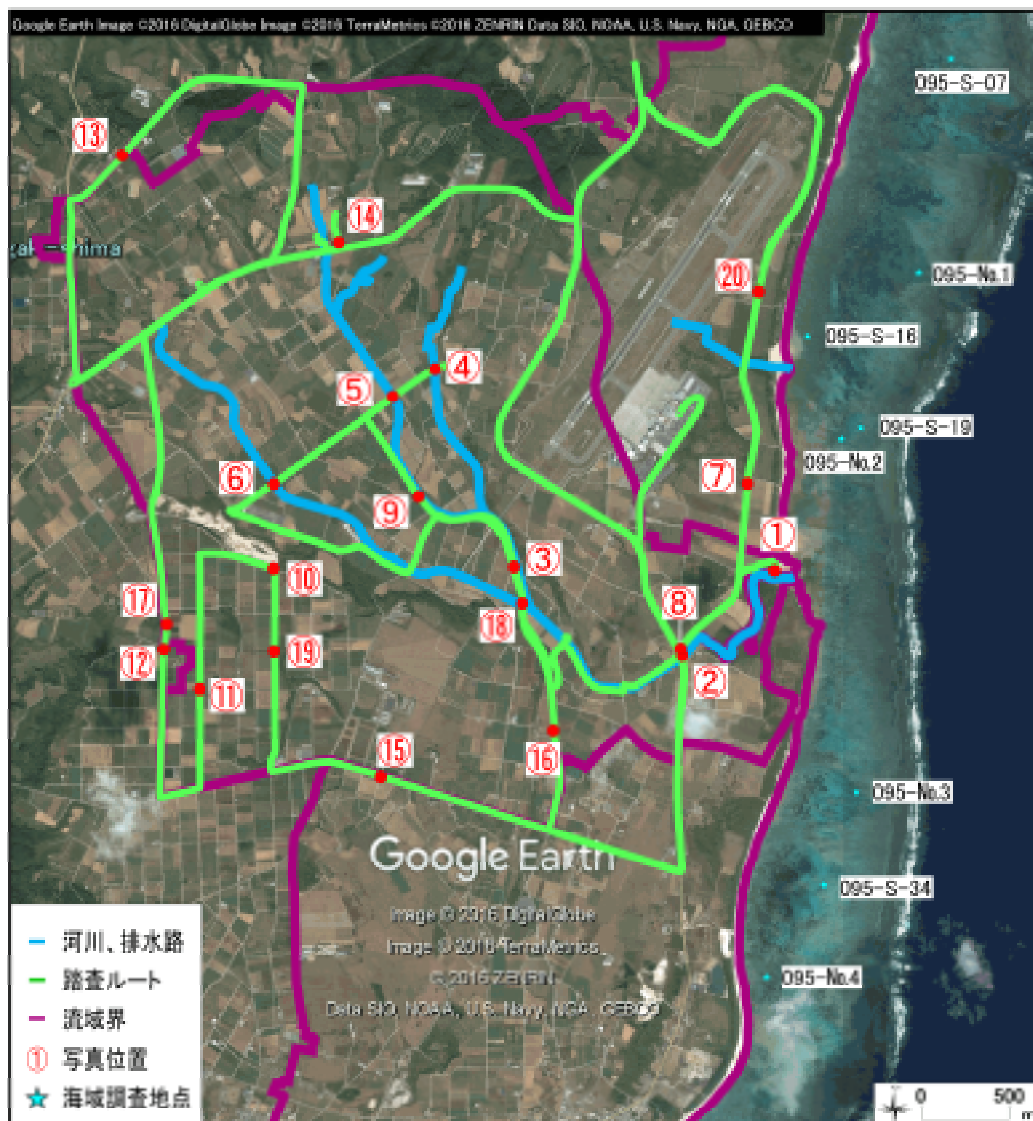
95 白保

第1回調査(平成30年7月11日実施)

降雨状況 盛山観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成26年11月8日であるため、本調査日平成30年7月11日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

95 白保 第1回調査(平成30年7月11日実施)

調査日前日には降雨量が185mmであったため 降雨後 として調査実施

(1)河口、河川

- ① 河口域において、若干の濁りが確認され、濁度は4.1(度)であった。
- ② 河川下流域において、若干の濁りが確認され、濁度は3.9(度)であった。
- ③ 東側支川下流域において、ほとんど濁りはなく、濁度は1.3(度)であった。
- ④ 北側支川中流域において、ほとんど濁りはなく、濁度は0.9(度)であった。
- ⑤ 北西側支川中流域において、ほとんど濁りはなく、濁度は1.6(度)であった。
- ⑥ 西側支川中流域において、若干の濁りが確認され、濁度は5.0(度)であった。河川の状況から、河口域の濁りの原因には特定の流出源はなく、周辺の農地等から少しずつ流出したものであると考えられる。

(2)農地

- ⑦ 流域内東側において、農地内に濁水の滞留が確認された。農地の奥は海岸につながるため、前日の降雨時にはこの濁水があふれ、流出していた可能性が高いと考えられる。
- ⑧ 河川下流域において、サウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑨ 北西側支川下流域において、サウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑩ 流域内西側において、サウキビ畑から側溝や道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑪ 流域内西側において、裸農地から側溝や道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑫ 流域内西側において、農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑬ 流域内北西側において、農地から側溝や道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑭ 流域内北側において、農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。また、道路や側溝には赤土等の堆積も確認された。

(3)その他(造成地や工事など)

- ⑮ 流域内南側において、「石垣空港線道路改良事業(残土等集積地)」が確認された。規模は40×20m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑯ 流域内南側のサウキビ畑において、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑰ 流域内西側のパイナップル畑において、ゲットウによるグリーンベルトが確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑱ 北側支川と西側支川の合流地点において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。
- ⑲ 流域内西側において、集水柵が確認された。オーバーフローは確認されなかったが、沈砂池内には土砂が堆積しており、あまり機能していないと考えられる。
- ⑳ 流域内東側において、浸透池が確認された。オーバーフローは確認されたが、濁りはなかった。

第1回確認地点との比較

流出情報等

(1)農地



- ⑧,⑩,⑬,⑭ 昨年度と比べ変化はなく、サウキビ畑等の農地から道路や側溝へ赤土等が流出していた。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑮ 昨年度と比べ、残土の一部がむき出しとなっており、赤土等の流出の可能性はある。








95 白保 第1回調査(平成30年7月11日実施)

調査日前日には降雨量が185mmであったため 降雨後 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁り有り)	① 採水の状況 (濁度4.1(度))	② 下流域の状況 (濁り有り)
		
② 採水の状況 (濁度3.9(度))	③ 東側支川下流域の状況 (濁り有り)	③ 採水の状況 (濁度1.3(度))
		
④ 北側支川中流域の状況 (濁り有り)	④ 採水の状況 (濁度0.9(度))	⑤ 北西側支川中流域の状況 (濁り有り)
		
⑤ 採水の状況 (濁度1.6(度))	⑥ 西側支川中流域の状況 (濁り有り)	⑥ 採水の状況 (濁度5.0(度))
		
⑦ 濁水が滞留していた農地の状況	⑧ サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕状況	⑧ 昨年度の状況

95 白保 第1回調査(平成30年7月11日実施)

調査日前日には降雨量が185mmであったため 降雨後 として調査実施

		
⑨ サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕状況	⑩ サトウキビ畑から側溝や道路へ赤土等の若干の流出痕状況	⑩ 昨年度の状況
		
⑪ 裸農地から側溝や道路へ赤土等の流出痕状況	⑪ 裸農地から側溝や道路へ赤土等の流出痕状況	⑫ 農地から側溝や道路へ赤土等の流出痕状況
		
⑬ 農地から側溝や道路へ赤土等の若干の流出状況	⑬ 昨年度の状況	⑭ 農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況
		
⑭ 農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況	⑭ 農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況	⑭ 昨年度の状況
		
⑭ 昨年度の状況	⑮ 赤土等流出防止条例に係わる表示	⑮ 工事現場の状況

95 白保 第1回調査(平成30年7月11日実施)

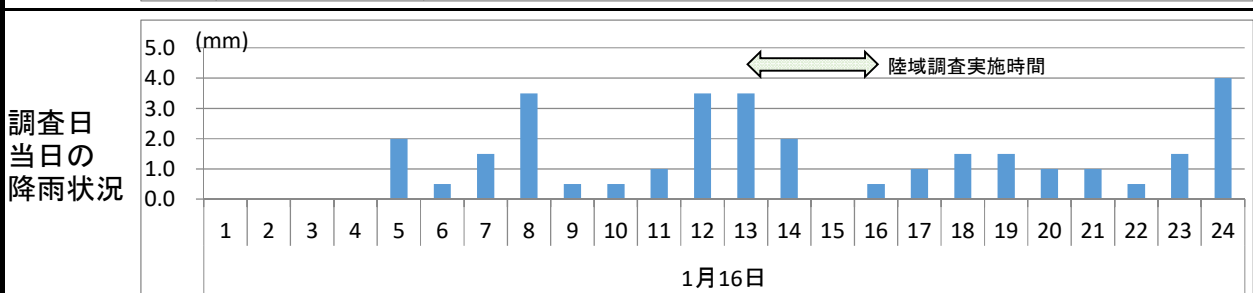
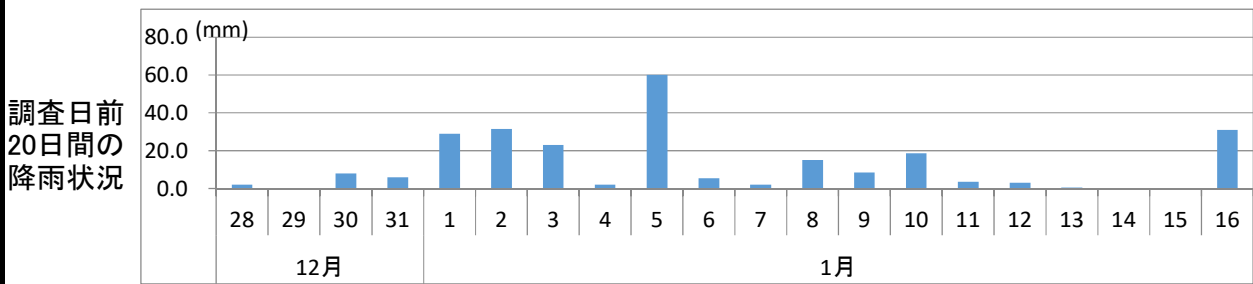
調査日前日には降雨量が185mmであったため 降雨後 として調査実施

		
<p>⑮ 昨年度の状況</p>	<p>⑯ 勾配修正による赤土等の流出防止対策</p>	<p>⑰ ゲットウによるグリーンベルトの状況</p>
		
<p>⑱ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)</p>	<p>⑲ 農地内集水樹の状況</p>	<p>⑳ 浸透池の状況(オーバーフロー有り、濁りなし)</p>

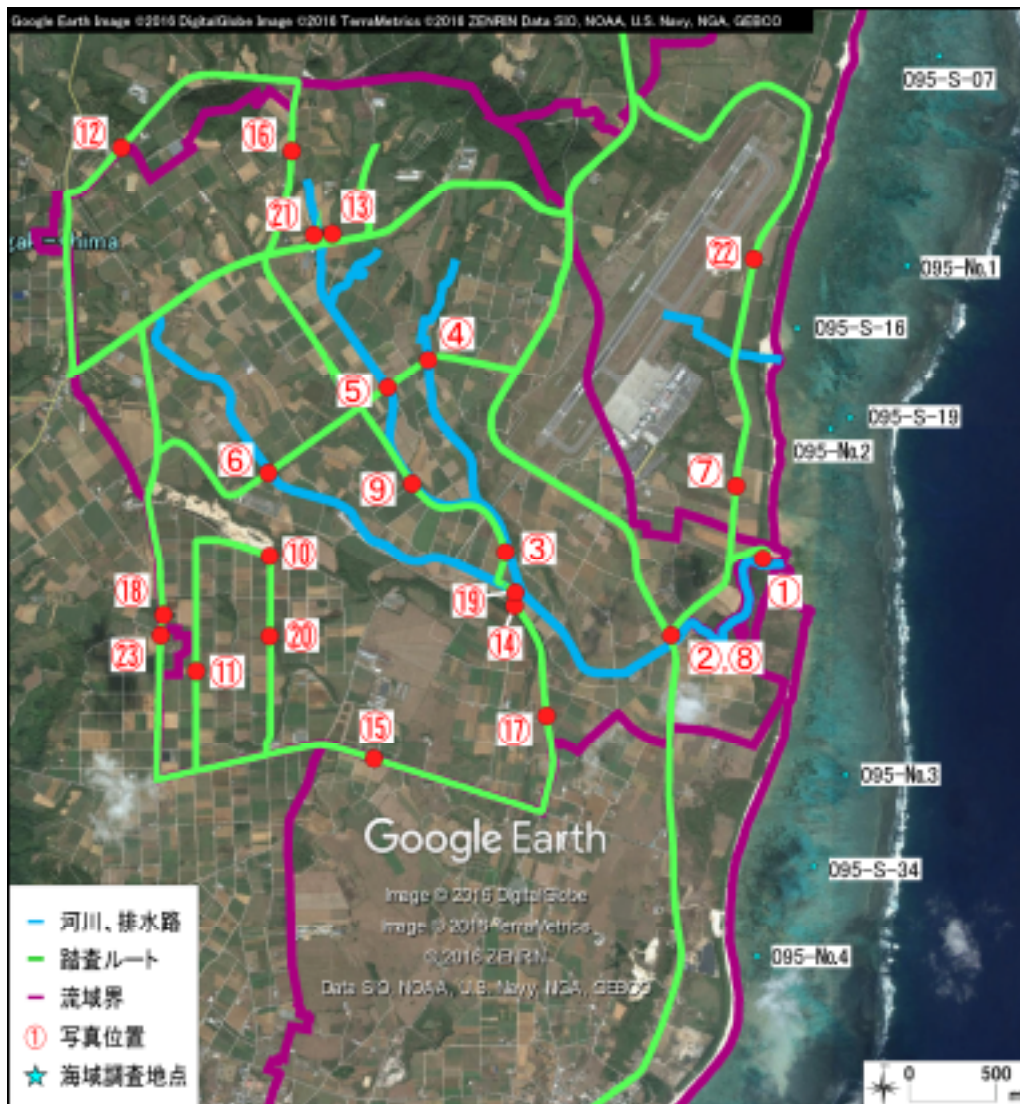
95 白保

第2回調査(平成31年1月16日実施)

降雨状況 盛山観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成26年11月8日であるため、本調査日平成31年1月16日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

95 白保 第2回調査(平成31年1月16日実施)

調査日には降雨量が31mmであったため 降雨時 として調査実施

(1)河口、河川

- ① 河口域において、若干の濁りが確認され、濁度は6.2(度)であった。地点②～⑥において、濁りが確認されていたにもかかわらず、この地点で濁りがほとんどなかったのは、地点①と②の間にある堰やマングローブ域でせき止められたためであると考えられる。
- ② 河川下流域において、濁りが確認され、濁度は8.9(度)であった。濁りの原因は地点④⑤⑥が同じように濁っており、特定の場所ではなく、周辺の農地から少しずつ流出したものと考えられる。
- ③ 東側支川下流域において、濁りが確認され、濁度は9.5(度)であった。
- ④ 北側支川中流域において、若干の濁りが確認され、濁度は2.1(度)であった。
- ⑤ 北西側支川中流域において、濁りが確認され、濁度は6.6(度)であった。
- ⑥ 西側支川中流域において、濁りが確認され、濁度は42.5(度)であった。

(2)農地

- ⑦ 流域内東側において、赤土等の流出可能性がある裸地の目立つサウキビ畑が確認された。
- ⑧ 河川下流域において、サウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出が確認された。
- ⑨ 北西側支川下流域において、サウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出が確認された。
- ⑩ 流域内西側において、サウキビ畑から側溝や道路へ赤土等の若干の流出が確認された。その直下に水路があり、濁水が流れていた。採水を行ったところ、濁度は94.1(度)であった。
- ⑪ 流域内西側において、赤土等の流出可能性がある裸地の目立つサウキビ畑が確認された。
- ⑫ 流域内北西側において、農地から側溝や道路へ赤土等の若干の流出が確認された。
- ⑬ 流域内北側において、農地から道路や側溝へ赤土等の流出が確認された。また、道路や側溝には赤土等の堆積も確認された。

(3)その他(造成地や工事など)

- ⑭ 東側河川下流域において、「下田原大橋橋梁整備工事(上部工A1～A4)」が確認された。規模は4,137.9㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示も確認された。橋桁の下に一部濁水が溜まるが、特に外部とつながっておらず、流出の可能性はないと考えられる。
- ⑮ 流域内南側において、「石垣空港線道路改良事業(残土等集積地)」が確認された。規模は40×20m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。
- ⑯ 流域内北側において、「石垣島農業水利事業 二又左岸1号幹線水路接続他工事」が確認された。規模は1,617㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示も確認された。工事が行われている農地にはゲットウによるグリーンベルトもあり、赤土等の流出の可能性は低いと考えられる。

流出防止対策等**(1)農地**

- ⑰ 流域内南側のサウキビ畑において、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑱ 流域内西側のパイナップル畑において、ゲットウによるグリーンベルトが確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑲ 北側支川と西側支川の合流地点において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されたが、濁りはなかった。
- ⑳ 流域内西側において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかったが、直前にオーバーフローしていた可能性が高い。
- ㉑ 流域内北側において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかったが、排水口の高さからほぼ満水と考えられる。
- ㉒ 流域内東側において、浸透池が確認された。

第1回確認地点との比較**流出情報等****(1)農地**

- ⑦,⑪ 前回と比べ、農地に濁水の滞留等は確認されなかったが、依然として裸地が目立っていた。
- ⑧,⑨ 前回と比べ、道路に流出した赤土等は減少していた。
- ⑩ 前回と比べ、大きな変化は確認されなかったが、そばの水路では濁水が確認された。
- ⑫ 前回と比べ変化はなく、農地から道路へ若干の赤土等が流出していた。
- ⑬ 前回と比べ変化はなく、農地から道路へ赤土等が流出していた。
- ⑳ 前回と比べ、道路に堆積した赤土等はなくなっていた。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑮ 前回と比べ変化はなく、残土の一部がむき出しとなっており、赤土等の流出の可能性はある。

流出防止対策等**(1)農地**

- ⑰ 前回と比べ変化はなく、勾配修正が施されていた。
- ⑱ 前回と比べ変化はなく、ゲットウによるグリーンベルトが施されていた。

95 白保 第2回調査(平成31年1月16日実施)

調査日には降雨量が31mmであったため 降雨時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁り有り)	① 採水の状況 (濁度6.2(度))	② 下流域の状況 (濁り有り)
		
② 採水の状況 (濁度8.9(度))	③ 東側支川下流域の状況 (濁り有り)	③ 採水の状況 (濁度9.5(度))
		
④ 北側支川中流域の状況 (濁り少)	④ 採水の状況 (濁度2.1(度))	⑤ 北西側支川中流域の状況 (濁り有り)
		
⑤ 採水の状況 (濁度6.6(度))	⑥ 西側支川中流域の状況 (濁り有り)	⑥ 採水の状況 (濁度42.5(度))
		
⑦ 赤土等が流出する可能性があるサトウキビ畑の状況	⑦ 前回の状況	⑧ サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出状況

95 白保 第2回調査(平成31年1月16日実施)

調査日には降雨量が31mmであったため 降雨時 として調査実施

		
⑧ 前回の状況	⑨ サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出状況	⑨ 前回の状況
		
⑩ サトウキビ畑から側溝や道路へ赤土等の若干の流出状況	⑩ 採水の状況 (濁度94.1(度))	⑩ 前回の状況
		
⑪ 赤土等が流出する可能性があるサトウキビ畑の状況	⑪ 前回の状況	⑪ 前回の状況
		
⑫ 農地から側溝や道路へ赤土等の若干の流出状況	⑫ 前回の状況	⑬ 農地から道路や側溝へ赤土等の流出状況
		
⑬ 前回の状況	⑬ 前回の状況	⑬ 前回の状況

95 白保 第2回調査(平成31年1月16日実施)

調査日には降雨量が31mmであったため 降雨時 として調査実施



⑭ 赤土等流出防止条例に係わる表示

⑭ 工事現場の状況

⑭ 工事現場の状況



⑮ 赤土等流出防止条例に係わる表示



⑮ 工事現場の状況



⑮ 前回の状況



⑯ 赤土等流出防止条例に係わる表示



⑯ 工事現場の状況



⑯ 工事現場の状況



⑰ 勾配修正による赤土等の流出防止対策



⑰ 前回の状況



⑱ ゲットウによるグリーンベルトの状況



⑱ 前回の状況



⑲ 沈砂池の状況(オーバーフロー有り、濁りなし)



⑲ オーバーフローの状況(濁りなし)

95 白保 第2回調査(平成31年1月16日実施)

調査日には降雨量が31mmであったため 降雨時 として調査実施

		
<p>⑳ 農地内集水樹の状況(オーバーフローの可能性有り)</p>	<p>㉑ 沈砂池の状況(オーバーフローなし)</p>	<p>㉒ 浸透池の状況(オーバーフローなし)</p>
		
<p>㉒ 浸透池の状況(オーバーフローなし)</p>	<p>㉓ 農地の状況(流出なし)</p>	<p>㉓ 前回の状況</p>

94 宮良川河口

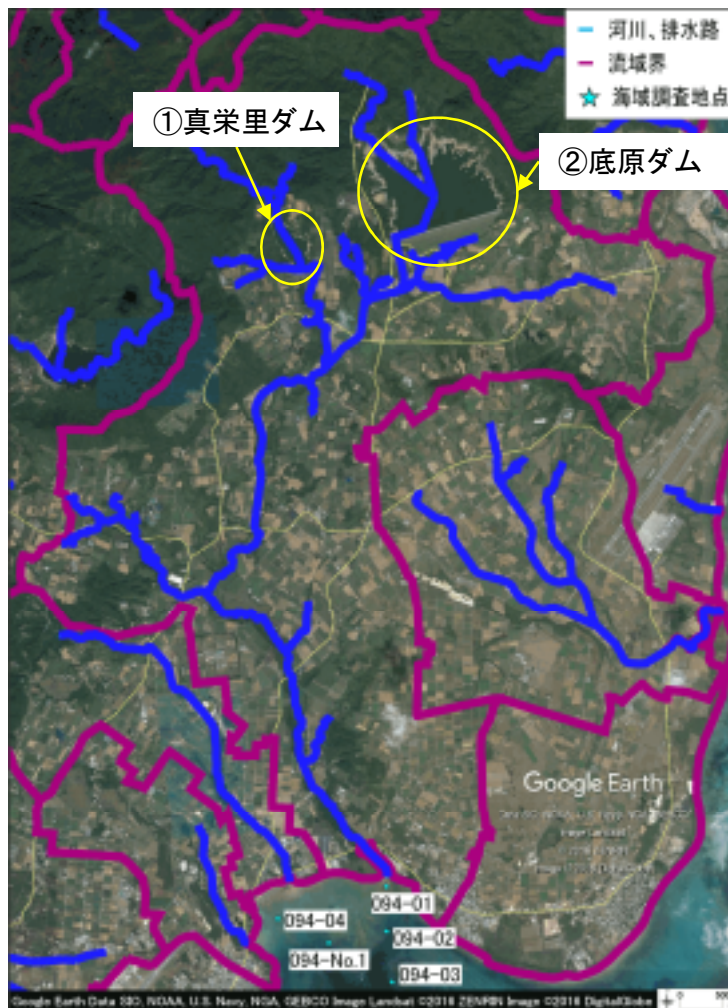
流域内状況

本流域は、宮良川を主とする流域であり、石垣島南東部に位置する。河川上流域には、真栄里ダム(①)や、底原ダム(②)がある。流域内には、土地改良等で整備された農地が広がっている。農地では主にサトウキビが栽培されている。

流域位置図



流域図



①真栄里ダム



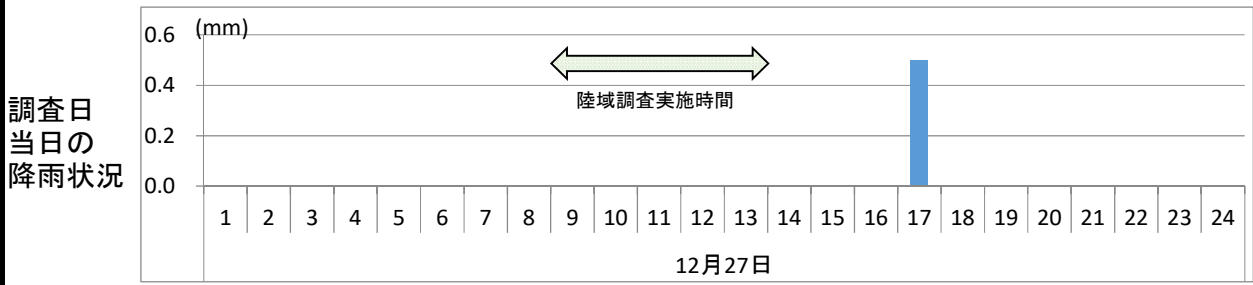
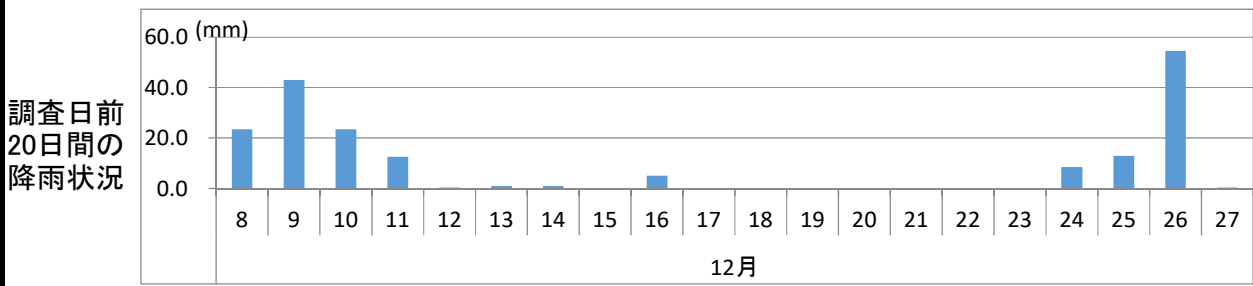
②底原ダム

* 衛星写真の撮影日は平成26年11月8日であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

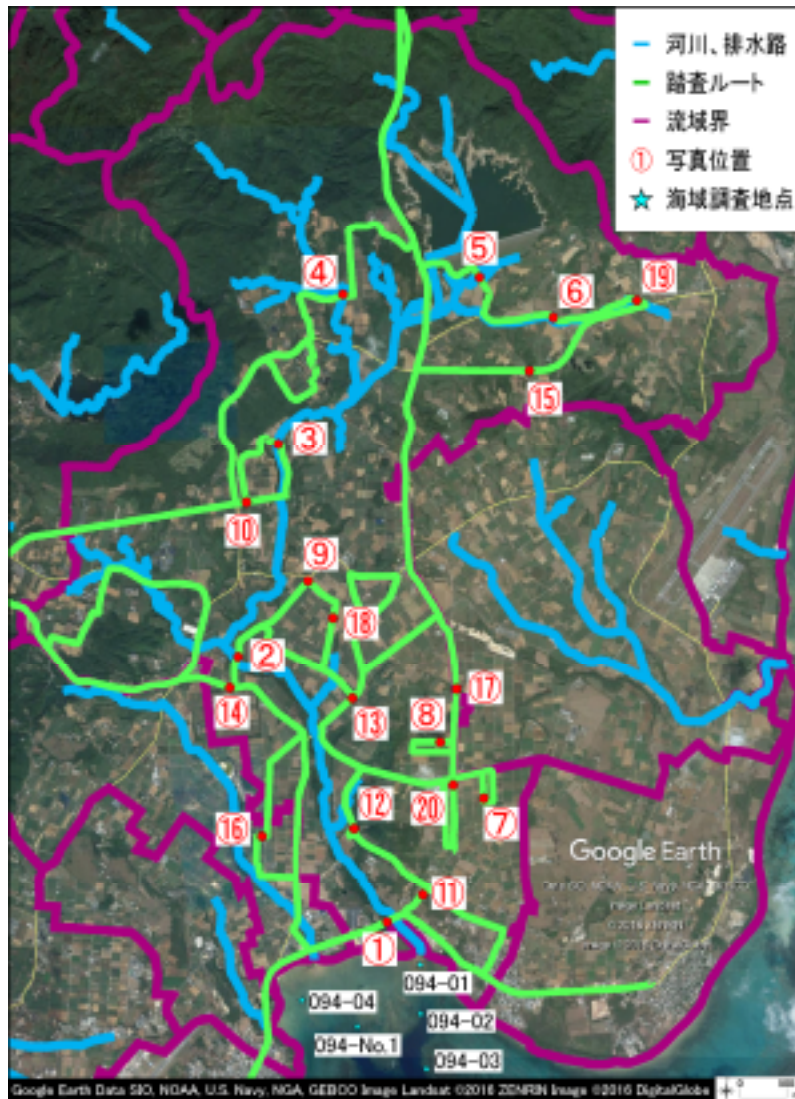
94 宮良川河口

第1回調査(平成30年12月27日実施)

降雨状況 盛山観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成26年11月8日であるため、本調査日平成30年12月27日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

94 宮良川河口 第1回調査(平成30年12月27日実施)

調査日前日には降雨量が54.5mmであったため 降雨後 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域において、濁りは確認されなかった。
- ② 河川中流域において、濁りは確認されなかった。
- ③ 河川中流域において、若干の濁りが確認され、その濁度は3.5(度)であった。
- ④ 北側支川上流にある真栄里ダムにおいて、放水が確認されたものの、濁りはなかった。
- ⑤ 北東側支川にある底原ダム直下において、若干の濁りが確認され、その濁度は0.7(度)であった。
- ⑥ 河川上流域において、若干の濁りが確認された。

(2)農地

- ⑦ 流域内東側において、農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑧ 流域内中央付近において、サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑨ 流域内中央付近において、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑩ 流域内中央付近において、農地から側溝や道路へ赤土等の流出痕が確認された。

(3)その他(造成地や工事など)

- ⑪ 流域内東側において、宅地建設用の造成地が確認された。規模は20×10m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示はなかったものの、特に赤土等の流出はなかった。
- ⑫ 流域内中央付近において、「高山橋橋梁整備工事」が確認された。規模は9,759㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。
- ⑬ 流域内中央付近において、「平成28年度 石垣島農業水利事業 平喜名左岸送水路牧場工区(その1)工事」の工事が完了した状態が確認された。しかし工事看板に記載されている工事期間はH31年2月までとなっており、まだ周辺で継続している可能性もある。
- ⑭ 流域内中央付近において、「石垣島農業水利事業 平喜名右岸送水路市道工区(その1)工事」が確認された。規模は5,304㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。
- ⑮ 流域内北東側において、「大座地区ほ場整備工事(H29-3)」が行われていた。規模は12,440㎡となっており、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑯ 流域内南西側のサトウキビ畑において、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑰ 流域内東側のパイナップル畑において、ゲットウによるグリーンベルトにが確認された。
- ⑱ 流域内中央付近のパイナップル畑において、草本によるグリーンベルトが確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑲ 流域内北東側において、沈砂池が確認された。オーバーフローはしていたが、濁りは確認されなかった。

過年度確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ⑦,⑧, ⑨,⑩ 昨年度と比べ変化はなく、サトウキビ畑等の農地から道路や側溝へ赤土等が流出していた。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑪ 昨年度と比べ、造成地に一部宅地が建設されていたが、依然として裸地は残っており、赤土等の流出が懸念される。
- ⑬ 昨年度と比べ、この地点での工事は完了しており、以後この箇所から赤土等の流出すはないと考えられる。
- ⑮ 昨年度と比べ変化はなく、圃場整備工事は継続しており、特に流出状況は確認されなかった。
- ⑳ 昨年度確認された「石垣島農業水利事業 平喜名左岸送水路宮良産業道路工区(その1)工事」の工事は完了しており、裸地は農地として利用されていた。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑯ 昨年度と比べ変化はなく、サトウキビ畑に勾配修正が施されていた。
- ⑱ 昨年度と比べ変化はなく、パイナップル畑に草本によるグリーンベルトが施されていた。

94 宮良川河口 第1回調査(平成30年12月27日実施)

調査日前日には降雨量が54.5mmであったため 降雨後 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁りなし)	② 河川中流域の状況 (濁りなし)	③ 河川中流域の状況 (濁り有り)
		
③ 採水の状況 (濁度3.5(度))	④ 真栄里ダムの状況 (放水有り)	⑤ 底原ダム直下の状況 (濁り有り)
		
⑤ 採水の状況 (濁度0.7(度))	⑥ 河川上流域の状況 (濁り有り)	⑦ 農地から道路へ赤土等の 流出痕状況
		
⑦ 昨年度の状況	⑧ 農地から道路へ赤土等の 流出痕状況	⑧ 昨年度の状況
		
⑨ サトウキビ畑から道路や側 溝へ赤土等の流出痕状況	⑨ 昨年度の状況	⑩ 農地から道路や側溝へ赤 土等の流出痕状況

94 宮良川河口 第1回調査(平成30年12月27日実施)

調査日前日には降雨量が54.5mmであったため 降雨後 として調査実施

		
<p>⑩ 昨年度の状況</p>	<p>⑪ 宅地建設用の造成地の状況</p>	<p>⑪ 昨年度の状況</p>
		
<p>⑫ 赤土等流出防止条例に係わる表示</p>	<p>⑫ 工事現場の状況</p>	<p>⑬ 工事完了の状況(他の地点で工事継続の可能性有り)</p>
		
<p>⑬ 昨年度の状況</p>	<p>⑭ 赤土等流出防止条例に係わる表示</p>	<p>⑭ 工事現場の状況</p>
		
<p>⑮ 赤土等流出防止条例に係わる表示</p>	<p>⑮ 工事現場の状況</p>	<p>⑮ 工事現場の状況</p>
		
<p>⑮ 昨年度の状況</p>	<p>⑮ 昨年度の状況</p>	<p>⑯ 勾配修正による赤土等の流出防止対策</p>

94 宮良川河口 第1回調査(平成30年12月27日実施)

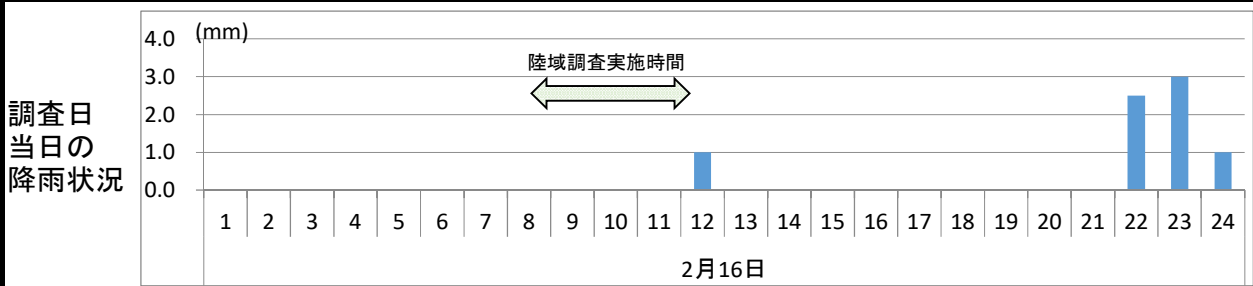
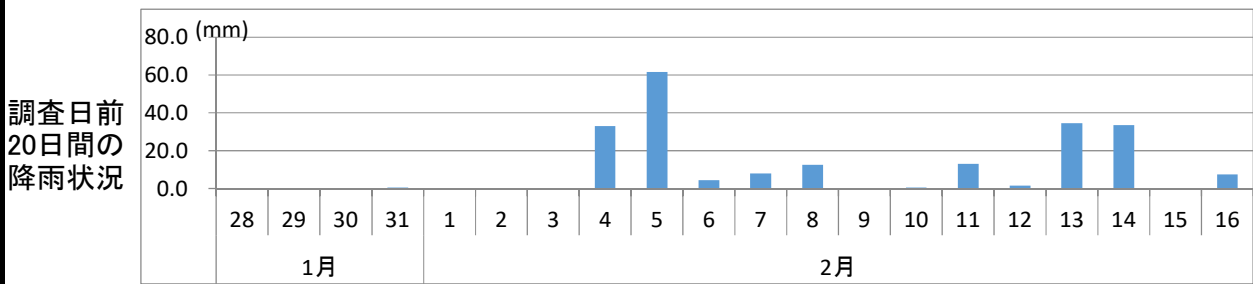
調査日前日には降雨量が54.5mmであったため 降雨後 として調査実施

		
⑯ 昨年度の状況	⑰ ゲットウによるグリーンベルトの状況	⑱ 草本によるグリーンベルトの状況
		
⑱ 昨年度の状況	⑲ 沈砂池の状況 (オーバーフロー有り)	⑲ オーバーフローの状況 (濁りなし)
		
⑳ 工事完了後の状況	⑳ 昨年度の状況	⑳ 昨年度の状況

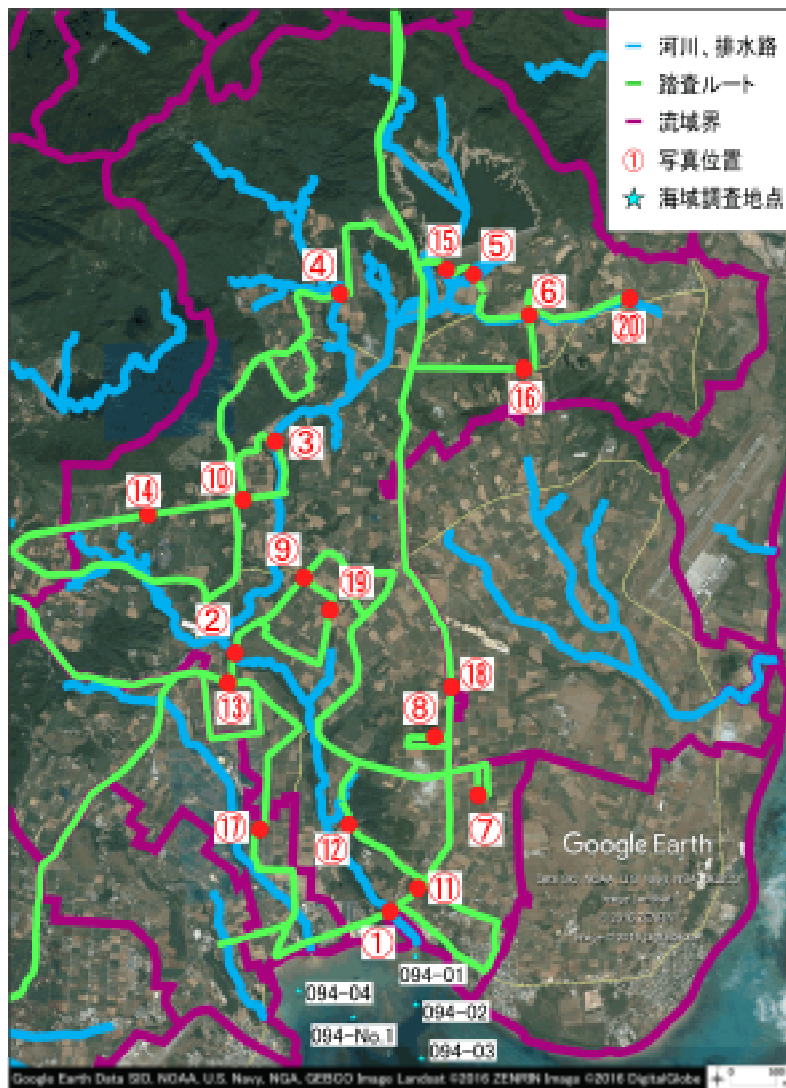
94 宮良川河口

第2回調査(平成31年2月16日実施)

降雨状況 盛山観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成26年11月8日であるため、本調査日平成31年2月16日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

94 宮良川河口 第2回調査(平成31年2月16日実施)

調査日には降雨量が7.5mmであったが、調査後の降雨のため 平常時 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域において、若干の濁りが確認されており、濁度は13.6(度)であった。
- ② 河川中流域において、若干の濁りが確認されており、濁度は7.6(度)であった。
- ③ 河川中流域において、若干の濁りが確認されており、濁度は6.6(度)であった。
- ④ 北側支川上流にある真栄里ダムにおいて、放水が確認されたものの、濁りはなかった。
- ⑤ 北東側支川にある底原ダム直下において若干の濁りが確認されており、濁度は8.9(度)であった。
- ⑥ 河川上流域において濁りが確認されており、濁度は16.7(度)であった。今回の調査では前々日の2/14に30mmを超える降雨があり、それから調査時まで降雨の記録はない。そのため、調査時の河川の濁りは、この前々日の降雨によるものか、石垣島の他の観測所で若干の降雨の記録があるため、そのどちらかが要因であると考えられる。

(2)農地

- ⑦ 流域内東側において、農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑧ 流域内中央付近において、サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑨ 流域内中央付近において、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑩ 流域内中央付近において、農地から側溝や道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。

(3)その他(造成地や工事など)

- ⑪ 流域内東側において、宅地建設用の造成地が確認された。規模は20×10m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されず、赤土等の若干の流出痕があった。
- ⑫ 流域内中央付近において、「高山橋橋梁整備工事」が確認された。規模は9,759㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認され、特に赤土等の流出はなかった。
- ⑬ 流域内中央付近において、「石垣島農業水利事業 平喜名右岸送水路市道工区(その1)工事」が確認された。規模は5,304㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認され、特に赤土等の流出はなかった。
- ⑭ 流域内西側において、濁水が噴き出す箇所が確認され、濁度は137.1(度)であった。マンホールが設置されるような場所ではなく、地下水が噴出しているのか、原因は不明であった。
- ⑮ 流域内北側において、「平成30年度 石垣島農業水利事業 太陽光発電施設土木工事」が確認された。規模は3.72haであり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかったものの、ビニルシートによる流出防止対策もあり、赤土等の流出はなかった。
- ⑯ 流域内北東側において、「大座地区ほ場整備工事(H29-3)」が行われていた。規模は12,440㎡となっており、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認され、特に赤土等の流出はなかった。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑰ 流域内南西側のサトウキビ畑において、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑱ 流域内東側のパイナップル畑において、ゲットウによるグリーンベルトが確認された。
- ⑲ 流域内中央付近のパイナップル畑において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑳ 流域内北東側において、沈砂池が確認された。オーバーフローはしていたが、濁りは確認されなかった。

第1回確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ⑦,⑧, ⑨ 前回と比べ変化はなく、サトウキビ畑等の農地から道路や側溝へ赤土等が流出していた。
- ⑩ 前回と比べ、サトウキビ畑から流出した赤土等は減少していた。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑪ 前回と比べ、宅地造成地では赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑫,⑬, ⑯ 前回と比べ、工事状況に変化はなく、引き続き赤土等の流出も確認されなかった。







流出防止対策等

(1)農地

- ⑰ 前回と比べ変化はなく、サトウキビ畑に勾配修正による赤土等の流出防止対策が施されていた。
- ⑱ 前回と比べ変化はなく、パイナップル畑にゲットウによるグリーンベルトが施されていた。
- ⑲ 前回と比べ、草本によるグリーンベルトを施してあったパイナップル畑には、グリーンベルトはなくなっていた。しかし、マルチングによる赤土等の流出防止対策が施されており、赤土等の流出の可能性は前回とあまり変わらないと考えられる。

94 宮良川河口 第2回調査(平成31年2月16日実施)

調査日には降雨量が7.5mmであったが、調査後の降雨のため 平常時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁り少)	① 採水の状況 (濁度13.6(度))	② 河川中流域の状況 (濁り少)
		
② 採水の状況 (濁度7.6(度))	③ 河川中流域の状況 (濁り少)	③ 採水の状況 (濁度6.6(度))
		
④ 真栄里ダムの状況 (放水有り)	⑤ 底原ダム直下の状況 (濁り少)	⑤ 採水の状況 (濁度8.9(度))
		
⑥ 河川上流域の状況 (濁り有り)	⑥ 採水の状況 (濁度16.7(度))	⑦ 農地から道路へ赤土等の 流出痕状況
		
⑦ 前回の状況	⑧ 農地から道路へ赤土等の 流出痕状況	⑧ 前回の状況

94 宮良川河口 第2回調査(平成31年2月16日実施)

調査日には降雨量が7.5mmであったが、調査後の降雨のため 平常時 として調査実施



⑨ サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況

⑨ 前回の状況

⑩ 農地から道路や側溝へ赤土等の若干の流出痕状況



⑩ 前回の状況



⑪ 宅地建設工事の状況



⑪ 前回の状況



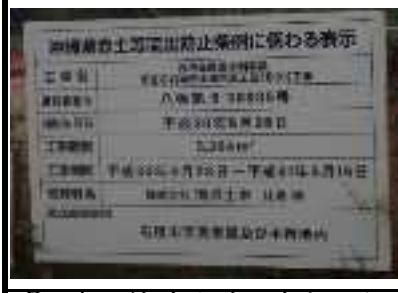
⑫ 赤土等流出防止条例に係わる表示



⑫ 工事現場の状況



⑫ 前回の状況



⑬ 赤土等流出防止条例に係わる表示



⑬ 工事現場の状況



⑬ 工事現場の状況



⑬ 前回の状況



⑭ 水が噴き出す箇所 (濁水流出)



⑭ 水が噴き出す箇所 (濁水流出)

94 宮良川河口 第2回調査(平成31年2月16日実施)

調査日には降雨量が7.5mmであったが、調査後の降雨のため 平常時 として調査実施

		
⑭ 採水の状況 (濁度137.1(度))	⑮ 太陽光発電施設工事の状況	⑯ 赤土等流出防止条例に係わる表示
		
⑯ 工事現場の状況	⑯ 工事現場の状況	⑯ 前回の状況
		
⑯ 前回の状況	⑰ 勾配修正による赤土等の流出防止対策	⑰ 前回の状況
		
⑱ ゲットウによるグリーンベルトの状況	⑱ 前回の状況	⑲ マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認
		
⑲ 前回の状況	⑳ 沈砂池の状況	⑳ 沈砂池の状況

97 野崎川河口

流域内状況

本流域は、野崎川を主とする流域であり、西表島の北側に位置する。流域内には、「農地開発事業」(①)により整備された農地が広がる。農地より内陸側は山地となっており、この箇所から赤土等が流出する可能性はないと考えられる。

流域位置図



流域図

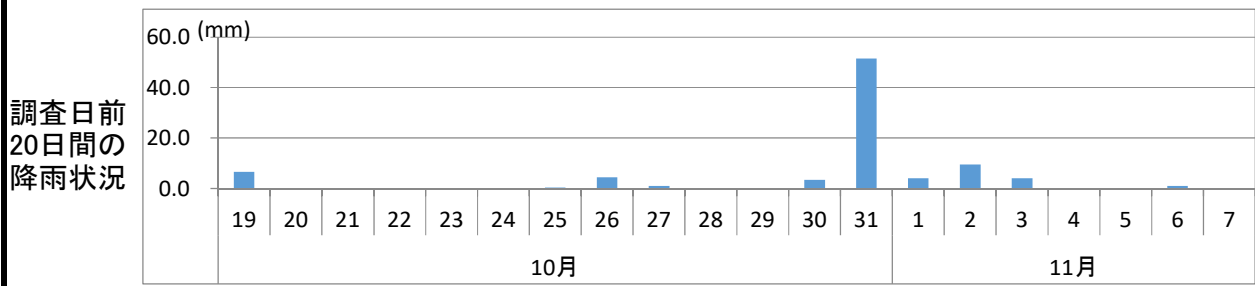


* 衛星写真の撮影日は平成18年3月11日であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

97 野崎川河口

第1回調査(平成30年11月7日実施)

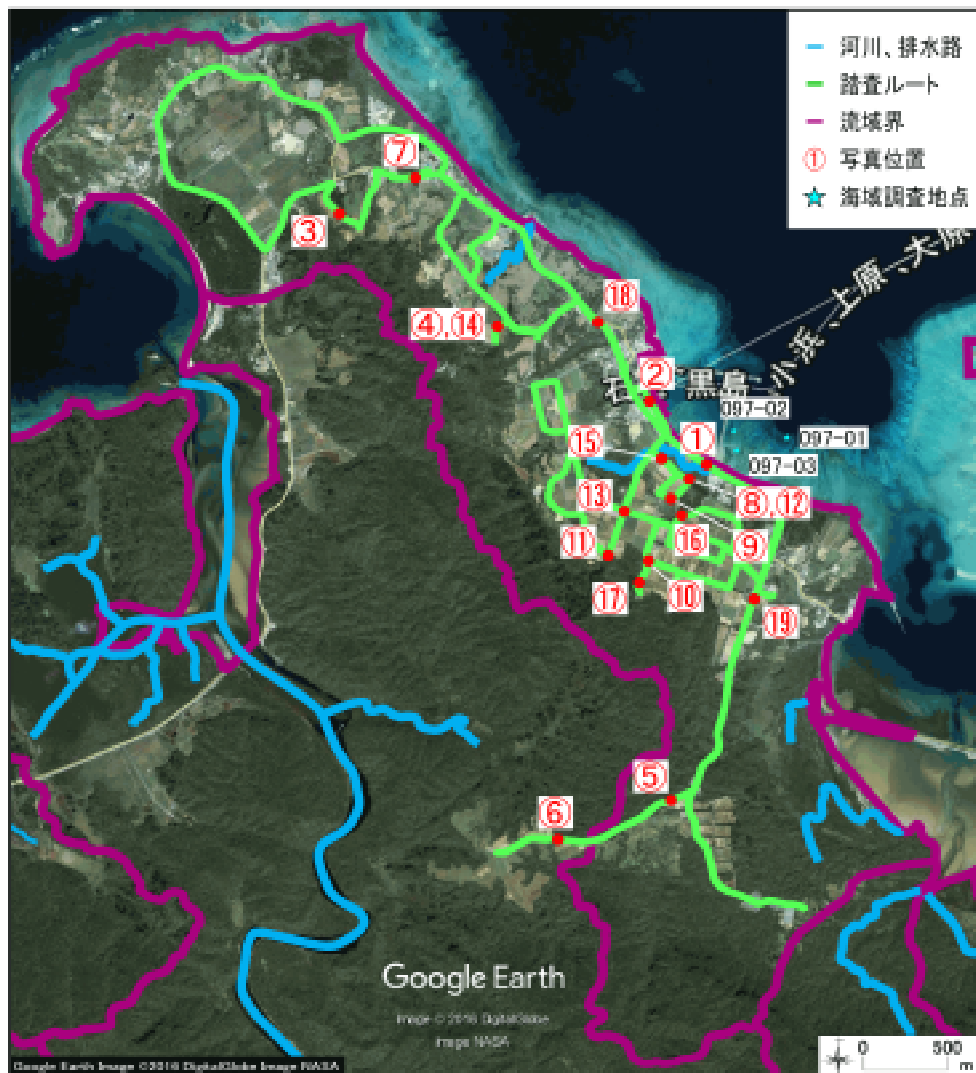
降雨状況 西表島観測所



調査日
当日の
降雨状況

当日の降雨は確認されなかった。

調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成18年3月11日であるため、本調査日平成30年11月7日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

97 野崎川河口 第1回調査(平成30年11月7日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域において、濁りは確認されなかった。
- ② 北側河口域において、濁りは確認されなかった。

(2)農地

- ③ 流域内北側において、パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。また、側溝は赤土等による埋没が確認された。
- ④ 流域内西側において、パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑤ 流域内南側において、パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑥ 流域内南側において、農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。

(3)その他(造成地や工事など)

- ⑦ 流域内北側において、家屋建設工事が確認された。規模は30×30m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。また、道路や側溝へ赤土等の流出痕も確認された。
- ⑧ 河川下流域において、雑草地から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑨ 流域内中央付近のパイナップル畑において、畦畔による赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑩ 流域内中央付近のパイナップル畑において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑪ 流域内西側のパイナップル畑において、防風柵による赤土等の流出防止対策が確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑫ 河川下流域の沈砂池において、濁りもオーバーフローも確認されなかった。
- ⑬ 流域内中央付近の沈砂地において、オーバーフローは確認されなかった。

過年度確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ④,⑤, 昨年度と比べ変化はなく、パイナップル畑等の農地から道路や側溝への赤土等が流出痕が確認された。
- ⑥
- ⑭,⑮, 昨年度と比べ、農地は休耕地となっており、赤土等の流出は確認されなかった。
- ⑯
- ⑰ 昨年度と比べ、パイナップル畑から赤土等の流出は確認されなかった。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑧ 昨年度と比べ、道路に堆積した赤土等が減少していた。
- ⑱ 昨年度と比べ、「八重山警察署上原駐在所新築工事」の完了しており、裸地も舗装されたため、今後この地点から赤土等の流出はないと考えられる。
- ⑲ 昨年度と比べ、家屋建設工事は完了しており、裸地も舗装されたため、今後この地点から赤土等の流出はないと考えられる。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑨ 昨年度と比べ、畦畔に草本が覆っており、赤土等の流出防止機能は高まったと考えられる。
- ⑪ 昨年度と比べ変化はなく、防風柵による赤土等の流出防止対策が施されていた。


97 野崎川河口 第1回調査(平成30年11月7日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁りなし)	① 河口域の状況 (濁りなし)	② 北側河口域の状況 (濁りなし)
		
③ パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況	④ パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕状況	④ 昨年度の状況
		
⑤ パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況	⑤ 昨年度の状況	⑥ 農地から道路へ赤土等の流出痕状況
		
⑥ 昨年度の状況	⑦ 建設現場から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況	⑦ 建設現場から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況
		
⑧ 雑草地から道路へ赤土等の若干の流出痕状況	⑧ 昨年度の状況	⑨ 畦畔による赤土等の流出防止対策

97 野崎川河口 第1回調査(平成30年11月7日実施)

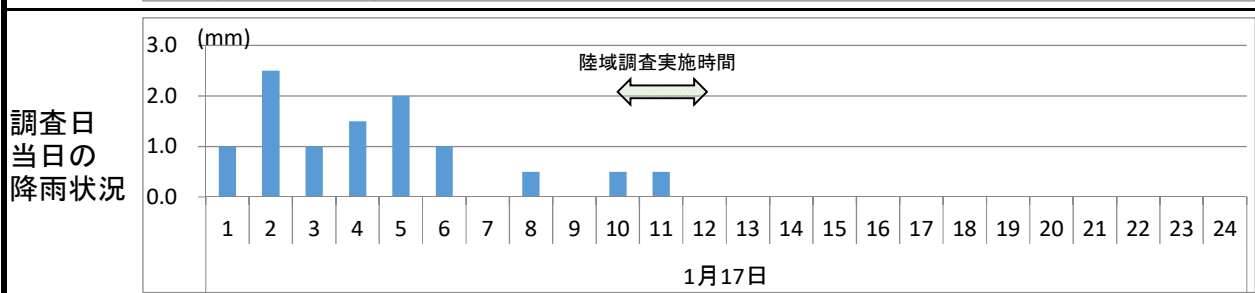
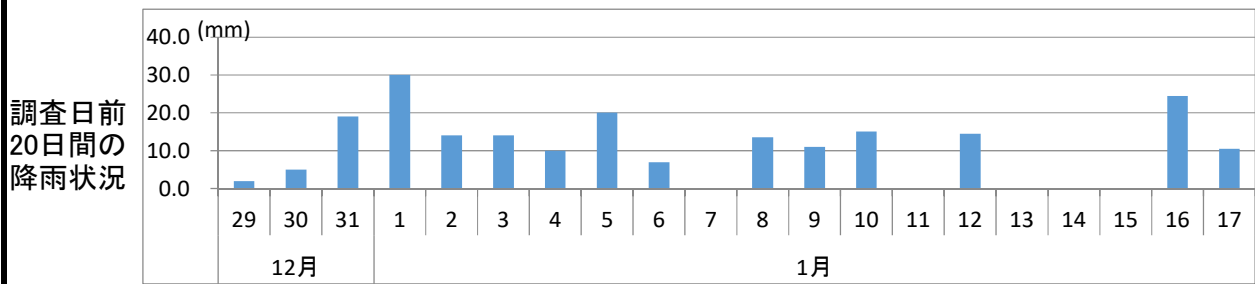
調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
⑨ 昨年度の状況	⑩ マルチングによる赤土等の流出防止対策	⑪ 防風柵による赤土等の流出防止対策
		
⑪ 昨年度の状況	⑫ 沈砂池の状況	⑬ 沈砂池の状況
		
⑭ パイナップル畑(休耕地)の状況(流出なし)	⑭ 昨年度の状況	⑮ 休耕地の状況(流出なし)
		
⑮ 昨年度の状況	⑯ パイナップル畑(休耕地)の状況(流出なし)	⑯ 昨年度の状況
		
⑰ パイナップル畑の状況(流出なし)	⑰ 昨年度の状況	⑱ 工事完了後の状況(流出なし)

97 野崎川河口

第2回調査(平成31年1月17日実施)

降雨状況 西表島観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成18年3月11日であるため、本調査日平成31年1月17日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

97 野崎川河口 第2回調査(平成31年1月17日実施)

調査日には降雨量が10.5mmであったため 降雨時 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域において、若干の濁りが確認され、濁度は6.7(度)であった。
- ② 北側河口域において、濁りが確認され、濁度は11.0(度)であった。

(2)農地

- ③ 流域内北側において、パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出が確認された。また、側溝は赤土等による埋没が確認された。
- ④ 流域内西側において、パイナップル畑から道路へ赤土等の流出が確認された。
- ⑤ 流域内西側において、農地から道路や側溝へ赤土等の若干の流出が確認された。
- ⑥ 流域内南側において、パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出が確認された。
- ⑦ 流域内南側において、農地から道路へ赤土等の流出が確認された。

(3)その他(造成地や工事など)

- ⑧ 流域内北側において、家屋建設工事が確認された。規模は30×30m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。また、道路や側溝へ赤土等の流出も確認された。
- ⑨ 河川下流域において、雑草地から道路へ赤土等の若干の流出が確認された。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑩ 流域内北側のパイナップル畑において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑪ 流域内中央付近のパイナップル畑において、盛土による赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑫ 流域内西側のパイナップル畑において、防風柵による赤土等の流出防止対策が確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑬ 河川下流域の沈砂池において、オーバーフローは確認されなかった。
- ⑭ 流域内中央付近の沈砂地において、オーバーフローが確認され、濁度は7.3(度)であった。
- ⑮ 流域内中央付近の沈砂地において、オーバーフローが確認され、濁度は4.5(度)であった。

第1回確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ③,④, 前回と比べ変化はなく、パイナップル畑等の農地から道路や側溝へ赤土等が流出していた。
- ⑥,⑦
- ⑤ 前回と比べ、流出状況が改善したパイナップル畑から再度流出が確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑧ 前回と比べ、工事は進んでいるようであったものの、道路には流出痕が残っていた。
- ⑨ 前回と比べ変化はなく、道路に雑草地から流出したと考えられる赤土等が堆積していた。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑪ 前回と比べ変化はなく、盛土による赤土等の流出防止対策が施されていた。
- ⑫ 前回と比べ変化はなく、防風柵による赤土等の流出防止対策が施されていた。

97 野崎川河口 第2回調査(平成31年1月17日実施)

調査日には降雨量が10.5mmであったため 降雨時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁り少)	① 採水の状況 (濁度6.7(度))	② 北側河口域の状況 (濁り有り、濁度11.0(度))
		
③ パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出状況	③ 前回の状況	④ パイナップル畑から道路へ赤土等の流出状況
		
④ 前回の状況	⑤ 農地から道路や側溝へ赤土等の若干の流出状況	⑤ 前回の状況 (流出なし)
		
⑥ パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出状況	⑥ 前回の状況	⑦ 農地から道路へ赤土等の流出状況
		
⑦ 前回の状況	⑧ 建設現場から道路や側溝へ赤土等の流出状況	⑧ 建設現場から道路や側溝へ赤土等の流出状況

97 野崎川河口 第2回調査(平成31年1月17日実施)

調査日には降雨量が10.5mmであったため 降雨時 として調査実施

		
⑧ 前回の状況	⑧ 前回の状況	⑨ 雑草地から道路へ赤土等の若干の流出状況
		
⑨ 前回の状況	⑩ マルチングによる赤土等の流出防止対策	⑪ 盛土による赤土等の流出防止対策
		
⑪ 前回の状況	⑫ 防風柵による赤土等の流出防止対策	⑫ 前回の状況
		
⑬ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)	⑭ 沈砂池の状況 (オーバーフロー有り)	⑭ 採水の状況 (濁度7.3(度))
		
⑮ 沈砂池の状況 (オーバーフロー有り)	⑮ 採水の状況 (濁度4.5(度))	